

事業計画書

① 団体名	特定非営利活動法人地域資源文化研究所
② テーマ区分	指定テーマ (5) ・ 自由テーマ *該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。
③ 事業名	繊維のチカラで繋げ。持続可能なモノづくり
③ 採択回数等	1 回 目 *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 ・ 経過措置規定の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) (補助率1/2以内、上限100万)
⑤ 事業目的	<p>備中地域は背後に中国山地を有し、そこから瀬戸内海に下る豊かな水源を誇る広域都市である。古代よりこの地に受け継がれてきた産業は、やがて地形を育み人々の経済生活を支える柱となった。今日の繊維製品はそのような歴史的意義をもつ産業のひとつであるが、大きな歴史的転換期や時流、人々の生活スタイルや価値観の変遷により、その商品群は大きく形を変えつつある。</p> <p>また、近年、環境を取り巻く条件が世界的に変わってきたことから、人々が必要とするモノが多岐にわたっており、それらに対応する製品が確実に求められることが今後も予想される。</p> <p>繊維産業界においても、昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大により厳しい局面を迎えており、短期的、かつ中長期的に繊維産業を支援する仕組みを整える必要がある。また、地域経済を支える人材も同時に育成することで、将来にわたって産業界に貢献し、繊維産業全体の活性化につなげる必要がある。</p> <p>したがって、本事業の大きな目的として次の三つを掲げる。</p> <p>① 備中地域の繊維産業を商品開発で活性化する ② 備中地域の繊維産業界に貢献する人材を育成する ③ 備中地域の繊維産業を観光によって盛り上げる</p> <p>これらにより、繊維企業の新しいものづくりを促し、交流人口や観光消費額等の増加、雇用の促進、次世代の人材育成を図る。</p>
⑥ 現状及び課題	<p>【現状】</p> <p>新型コロナウイルス感染症による社会的・経済的不安から、地域の繊維産業において以下が問題となっている。</p> <p>①繊維産業の受注減少、雇用問題（繊維産業の低迷） ②新型コロナの影響による繊維製品に触れる機会の減少（イベントでの機会、教育での機会減少、リモート授業）</p> <p>【課題】</p> <p>アフターコロナを見据えた①から③による地域活性化の促進と繊維産業のRe-start支援が課題と考えている。</p> <p>①新たな商品開発 ②観光要素を取り入れた繊維産業振興 ③次世代を担う人材育成</p>
⑦ 事業内容	①商品開発 異素材（デニムや畳ベリ等）や異業種（日本酒など）とのコラボレーションや、「SDGs」の取組として、天然染料と繊維製品の組み合わせ

	<p>せなど、新たな製品の試作を産学が連携しながら行い、コーディネーターや専門家が現場指導やオンラインも駆使しサポートする。</p> <p>②産業観光の構築 旅行業者と連携し、協力企業等を見学するモニターツアーを実施し、体験型コンテンツをテーマとしたツーリズムの商品化の検討を行う。</p> <p>③人材育成 繊維産業の従事者と学生に対し、双方向を意識したマーケティング教育や産業ツーリズム等の必要な研修を行い、産学が交わる学びの共同体を構築する。 また、学生にモノづくりの実体験型プログラムを提供し、備中エリアの繊維産業を再認識することによって産業活性化の意義を理解し将来への職業観を身につけることをサポートする。</p> <p>④ 成果品の展示、PR活動 備中地域の繊維に関する開発力や品質の高さを県内外に広くPRするとともに、日常生活における繊維の「美」と「機能性」を感じてもらうため、県内外の消費者が集まる商業施設等でPR活動を行う。</p>																				
<p>⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応</p>	<p>*代替案の検討、事業縮小、事業中止など WEBサイトを通じたリモート開催に変更する。 当法人は、大学、社会人向けにオンラインでの教育研修等を数多く実施しており、IT技術者と相談しながら実施方法を変更することが可能である。</p>																				
<p>⑨今年度の成果目標と指標</p>	<p>メディアを通じて全国に産地の魅力や生活文化を広くPRすることで、コロナ禍が終息後の初動を速くすることができる。このため、観光客、消費の拡大に繋がる基礎となる。</p> <table border="1" data-bbox="432 1189 1460 1594"> <thead> <tr> <th>成果目標</th> <th>指標</th> <th>現状(数値)</th> <th>目標(数値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新商品の開発</td> <td>新商品開発数</td> <td>0</td> <td>3点以上(内1点は高校大学との連携)</td> </tr> <tr> <td>モニターツアーの開発</td> <td>プログラム(訪問先企業)数</td> <td>0</td> <td>訪問先 3企業</td> </tr> <tr> <td>人材育成</td> <td>連携学校数</td> <td>0</td> <td>高校3校 大学2大学</td> </tr> <tr> <td>人材育成(教育研修)</td> <td>参加者数</td> <td>0</td> <td>20人以上</td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	新商品の開発	新商品開発数	0	3点以上(内1点は高校大学との連携)	モニターツアーの開発	プログラム(訪問先企業)数	0	訪問先 3企業	人材育成	連携学校数	0	高校3校 大学2大学	人材育成(教育研修)	参加者数	0	20人以上
成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)																		
新商品の開発	新商品開発数	0	3点以上(内1点は高校大学との連携)																		
モニターツアーの開発	プログラム(訪問先企業)数	0	訪問先 3企業																		
人材育成	連携学校数	0	高校3校 大学2大学																		
人材育成(教育研修)	参加者数	0	20人以上																		
<p>⑩中期(数年)的な目標</p>	<p>①商品開発 前年度の見直しと製品のブラッシュアップを図り、より時代に沿ったモノを作ることを目標とする。 また、コラボレーションを基本に、より多様な企業が参入できるようなシステムまたはプラットフォームを構築する。</p> <p>②産業観光 観光者にも企業にも参加メリットがあるように改善し、多種多様な人々に受け入れられる魅力的なものにする。</p> <p>③人材育成 高校生や大学生、または専門学校生のモノづくりマインドを刺激し、時代に沿った製品群を生み出すプログラムを提供することで、地</p>																				

	<p>域の人材として貢献できる能力開発を実現する。</p> <p>同時に、NPO 活動に共鳴するインターンシップ参加者と協働する。</p> <p>④備中地域の繊維産業とモノづくりの歴史を海外へ向けて発信する。</p>
⑪長期的な目標	<p>事業を継続することで、岡山県内の繊維コラボレーション、あるいは繊維と異業種のコラボレーションが「当たり前」に起こっていく時流を興す。</p> <p>さらに、芸術(アート)性をもたせ、また、海外メディアへの発信により、インバウンドにも対応できるものと考えている。</p> <p>①商品開発 海外企業とのコラボレーションを視野に入れた企業の国際化を目指す。</p> <p>②産業観光 国内観光者のみならずインバウンドも視野に展開し、価値観の違いを考慮した、多様なツーリズムを目標とする。</p> <p>③人材育成 高校や大学、専門学校の科目に「地域産業を取り入れたモノづくり(仮称)」が採用され、常に新しい価値観を創造する教育に貢献できることを目標とする。</p> <p>また、NPO が主催する独自のインターンシッププログラムを提供し運営していく。</p>
⑫翌年度以降の事業展開の予定	<p>地域企業等の支援を得ながら、全国的な知名度を得るための取組を拡充する。</p>
⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント	<p>これまでの活動は、繊維製品がもつ「デザイン性」に焦点をあて、産地の製品群をアーカイブという形で展示することを主たる目的としおり、これについては、国内外から一定の評価を得ているものと考えている。</p> <p>本事業では、繊維産業に携わる「人」が持つ力に焦点を当て、「人の力」という新しい観点から専門性を活かすことで地域の魅力を最大限引き出し、未来産業としての繊維を広く周知することができると考えている。</p>
⑭想定される役割分担	<p>【団体】 企画・運営、連携事業の実施</p> <p>【県民局】 情報提供、広報協力・支援、助言など</p> <p>【その他】 教育委員会（高等学校との連携強化）、岡山県繊維構造改革組合（連絡網）倉敷ファッションセンター（企業との連携強化）</p> <p>【理由・期待できる相乗効果】 繊維の産地は幅広く、地域を網羅する組織とネットワークを作ることによって、産学の連携が行き届くものと期待される。</p>

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
R3.6	キックオフミーティング	倉敷芸術科学大学ほか (Web 参加含む)	企業 10 社 高校 3 校 大学 2 大学
R3.7	[人材育成] 企業対象セミナー (1 回目)	未定	20 名程度
	[産業観光] モニターツアー下見	備中県民局管内 2~3 か所	10 名程度
R3.9	[商品開発] 中間報告会、審査会 内見会 (1 回目)	未定 岡山市内商業施設	
	[人材育成] 企業対象セミナー (2 回目)		20 名程度
	[産業観光] 中間報告会	未定	
R3.11	[産業観光] モニターツアー	備中県民局管内 2~3 か所	30 名程度
R3.12	[商品開発] 内見会 (2 回目)	岡山市内商業施設	
R4.2	終了報告会	未定	

＜記入上の注意事項＞

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください (例：〇〇市文化センター、△△市内)。
不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。
不明な場合は未記入で構いません。